

書館ができた



▲読みたい本はどこかねて

▲オープンを待ちかねて

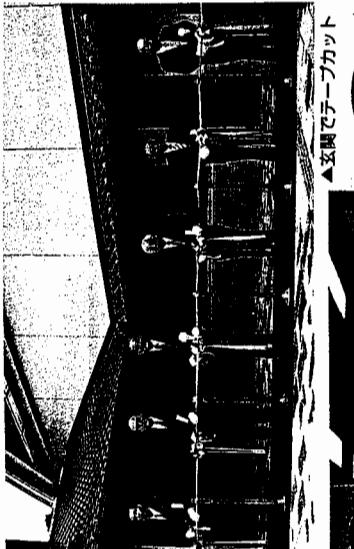


▲ここを押すとあらほんと!
指で触れるだけで検索します

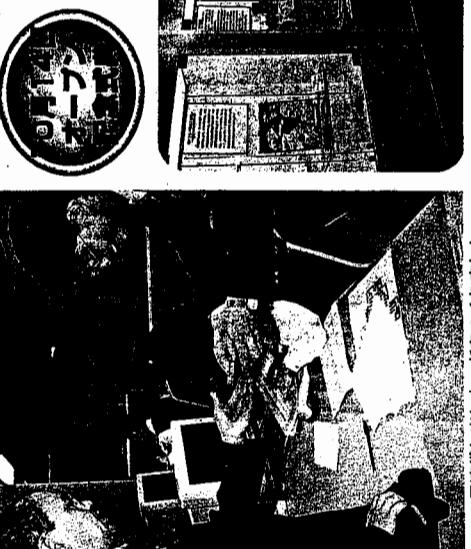


▼読みたい本はどこかねて

▲オープンを待ちかねて



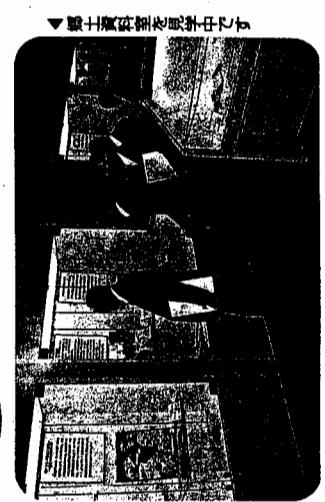
▲玄関でテープカット



▲早速貸し出しカードをつくりました



▲楽しい給木屋二さんの講演



▼郷土資料室を販賣中です

10月4日

記念式典が行われ、約30名が出席しました。支闇でのテープカットのあと、木の暖かみのあるホテル（研修室）で記念式典、そのあと鐘木健一さんによる講演がありました。NHKアナウンサーとして、テレビに新しい息吹を吹き込んだ数々の経験を生かし、「感動を形に表すのが文化だ。その文化の発信地として、また行動する図書館としておおいに期待します。」と語されました。

その後、みなさん館内を一周、広くて明るい書架や郷土資料室などを見学されました。

翌15日
○1番にこちらが舟津さん。小学4年生の子どもに大好んでみました。本当に丁寧に話を聞いていました。

○1番にこちらが舟津さん。小学4年生の子どもに大好んでみました。本当に丁寧に話を聞いていました。

さあ、これから利用の仕方はあなた次第です。

ぜひ一度覗いてみてください。

きな阪神タイガースの本を頼まれたそうです。「本当は僕が1番に行きたかった」とのこと。

○大字下にお住まいの女性は、今まで天理市の図書館で借りていたが、これからはウォーキングしながらここに来たい。話題の新刊図書が読みたい。

○朝倉台にお住まいの男性の方。遠いのが不便。いろんなジャンルの本が楽しみだ。他市だとコンピューターで中身を確認せずに借りていたが、こんなに広く十分に確認できるのが良い。

○1歳半の子どものために絵本をさがしに来た若いお母さんは、自分は時間がなくて読めないけれど、子どもと絵本を楽しもうかな。

○夫婦で来られた人は、広々とした空間が良い。外觀の瓦屋根も、落ち着いていててきた。快適な場所として空調には気を付けてほしい。娘が幼稚園の先生になるので、子どもと楽しめる部屋があればのことでした。

○野鳥の声のCDをさがしている女性や、クラシックのCDの扱い方を聞いている男性など、本以外にもさまざまな楽しみ方があります。